

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

生き残るためのヒント（雑草の戦略＝負けない軸） 稲垣 栄洋（静岡大学教授）

1. 植物の世界ではナンバーワンしか生き残れないため、「どこで勝負するか」が重要だ。その戦略を考える上で3つの要素がある。「CSR戦略」と呼ぶものだ。C（競合型）は巨木など「強い植物」に典型的な戦略。Sはサボテンのように、乾燥や日照不足などのストレスに耐性を持つ。Rは予測不能な変化（攪乱＝かくらん）に適応していく力で、雑草が一例だ。
2. ナンバーワンになるためには一番大事なのは「かぶらないこと」。絶滅を避けるため、そもそも競争が起きないように勝負する場所を「ずらす」のだ。相手と少し違う戦略を取れば、自分がナンバーワンになれる。そこはオンリーワンの場所でもあり、生物学で言う「ニッチ」そのものだ。
3. 雑草の戦略で重要な点は「負けない」という軸。次の世代に種を残す目的がしっかりしており、その大切な要素を見失っていない。だからこそ雑草はどんな環境下でも自由自在に姿形を変えられる。企業においても、社訓や独自技術、コアコンピタンス（中心的な競争力の源泉）を軸をぶらさず展開していくことは同じように重要だ。

（参考：「日経ビジネス」2023年8月14日号）

幹部への活きた言葉

「皆様はみな仏様です」（目黒絶海老師）

横田南嶺（臨済宗円覚寺派管長）

1. 私は小学5年の時、目黒絶海老師に巡り合えました。初めて禅寺に坐禅をしに行った時、いまでも鮮明に覚えているのが、「きょうお集まりの皆様はみんな仏様です」と、そう言って合掌して拝むんです。それから何十年と坐禅をやってきて、修行僧の指導をする立場になり、ある時「ああ、これが禅の究極だ」と。
2. 我われは仏心とか仏性とか言いますが、もっと平たく言えば、その人の持っている無限の可能性や素晴らしさ。それをこちらが手を合わせて拝む、つまり信じる。こちらが何かをしてあげようと思うより、相手がよい方向に芽を出していくことを信じて拝む。その心で一人ひとりに接していく。一番大事なことを最初の出逢いで教えていただきました。

（参考：「致知」2023年10月号）

人事・労務について

新たな仕事の創出が課題

1. 米ゴールドマン・サックスのレポートによれば、全世界で仕事の18%がAIによって自動化されるという。また、ホワイトカラーが多い日本を含む先進国では24～25%に跳ね上がる。管理・事務の支援業務などが最大のターゲットだ。一方、同レポートではテクノロジーによって新たな仕事が生まれる可能性も示唆している。米経済学者のディヴィッド・オートーとその共著者による研究によれば、現在の6割の労働者は1940年にはなかった仕事に就いている。
2. 生成AIのようなイノベーションには、短期的には新たな雇用機会を創出するタイムラグが存在するといえるかもしれない。今後の先進国の課題はイノベーションを持続化させるとともに、新たな仕事を創造して失業者を極力減らせるかどうかにか焦点が移るだろう。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2023年8月12日・19日号）

古典に学ぶ

すべての者は、悟りを開く能力を持っている

1. すべての者は、この上ない悟りを開く能力を具えている器である。空海がそういうように、どんな人も悟りへと至る可能性、つまり、仏性を秘めています。
2. しかし、私たちの日常生活を振り返るとどうでしょう。他人の言動にとらわれてイライラしたり、「心ここにあらず」で過去や未来に思い馳せてみたり…。「悟りにはほど遠いな」とため息が出ます。

（参考：名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」：河出書房新社）